

園だより いずみ

いずみ保育園

園長 濱田まゆみ

9月号 令和3年9月2日発行

日常生活の多様性

8月は猛暑日が続いたり、豪雨に見舞われたりと子どもたちの安全をいかにして守っていくか日々、注意をしながら過ごしました。9月は運動会の練習が少しずつ始まります。ここでは、幼い子どもたちを熱中症から守りながら進めていくことが大切です。暑さ指数(WBGT)とにらめっこしながら短時間で練習をいたします。子どもたちには外活動ではマスクは強制しません。逆にあごマスクできるように指導をいたします。保育士も原則、一日中マスクをしていますが、外活動の時は、無理をしないようにしています。場面でしてないこともあるかと思いますが、それも短時間です。ご理解をいただければ幸いです。これからも子どもも職員も「手洗い、マスク、密にならない」を合言葉に園生活をいたします。

休園中の給食減額について(対象:幼児組)

8月5日、6日と休園した給食の減額は次のようになります。

《計算法》

8月の登園日数 25日(月から土曜日までの日数、祝日を除く)

徴収額 4500円×(8月の登園日数 25日-休園 2日)÷25

=4140円

《8月の幼児組の給食費徴収額》

4140円

《減額》

360円



9月の行事予定

- 1日(水) 防災の集い
引き渡し訓練 伝言ダイヤル
頭髪検査
- 2日(木) プリント配布
調理保育
- 7日(火) 乳児健診
- 8日(水) お月見会
- 13日(月) 身体測定
- 13日(月) ミニ納涼祭
- 14日(火) 避難訓練
- 16日(木) 誕生会



10月の行事予定

- 1日(金) プリント配布
頭髪検査
- 2日(土) 親子で遊ぼう!!
乳児組
- 5日(火) 避難訓練 乳幼健診
- 6日(水) 調理保育
- 7日(木) 縦割り保育
- 8日(金) 幼児予行練習
- 12日(火) 身体測定
- 14日(木) 誕生会
- 16日(土) 第5回運動会
幼児組
- 26日(火) 芋ほり
きりん・そう組
- 29日(金) 焼き芋会

WEL-KIDS PHOTO(写真)

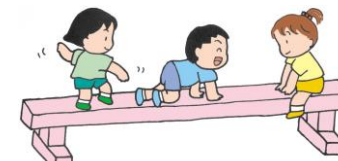
本園は行事の際はプロのカメラマンに来ていただくようにしています。ただし、昨年、今年と新型コロナウイルス感染症防止のため、外部からの入室をできるだけ制限をしているため、実現しておりません。それでも次の大きな行事には依頼をしています。

10月16日⇒第5回運動会

2月5日 ⇒第5回発表会

3月18日 ⇒第5回卒園式

★感染状況により変更になる可能性もあります。その節はどうぞご了承くださいますようお願いいたします



「運動会」と「親子で遊ぼう」について

乳児組については運動会というより親子で絵の具遊び、新聞紙遊び等をいたします。合同で致しますので1家族1人の参加をお願いします。幼児組につきましては、昨年度と同様にクラス別の3部制で行います。ご参加は1家庭2名とさせていただきます。

乳児組 親子で遊ぼう!!

日時…令和3年10月2日(土)10時から11時

《雨天の場合》 予備日…令和3年10月9日(土)

場所…いずみ保育園園庭

幼児組

日時…令和3年10月16日(土)

第1部 きりん組 9時00分~10時00分

第2部 ひつじ組 10時30分~11時20分

第3部 そう組 12時00分~13時00分

《雨天の場合》 予備日①…令和3年10月17日(日)

予備日②…令和3年10月23日(土)

予備日③…令和3年10月24日(日)

場所…いずみ保育園

- ・幼児組については、クラスの異なる保護者同士が感染することがないように完全入れ替え制です。乳児組については合同で行います。保護者の間隔は十分とは言えませんが、このことをご承知の上、ご参加をお願いいたします。
 - ・早く来られても、園庭に入ることはできません。
 - ・登園時間がクラスで違います。お間違えのないようお願いいたします。
- 幼児組の詳細はプログラムとともに「第5回運動会のご案内」を10月4日に配布をいたしますのでご確認ください。

絵本とともに育つ子どもたち

子どもたちはいろいろな活動を通して成長していきます。外では汗をかきながら体を使って遊びます。室内ではおもちゃなどの玩具を通して頭を使い、更に友だちともふれあいなどで他者と自分との関係でコミュニケーション能力を身につけています。そのような遊びの中で最も大切にしているものの一つに「絵本」があります。どのクラスも必ず一日に何度か絵本の時間を設けています。年齢に応じて絵本の選択も大切にしています。時には、お膝の上で、一対一対応で肌の温もりを感じながらその子だけの時間を作ることもあります

《絵本の要素》

- ① 美しものへの感性
- ② 言葉を育む
- ③ 子どもの真の姿を描く



《絵本は読んであげるもの》

子どもの成長に応じた絵本を手にしたとしても、それを子どもに渡すだけでは魔法の扉は開きません。ここで大切なことは絵本を読んであげる周りの大人の言葉です。子どもが字を読めるようになると、つい、「本読んで」と子どもが言っても、「もう、字読めるでしょ。自分で読みなさい!!」と言いがちです。絵本は、語りかけ、触れ合ってこそ、大きな意味があります。園では、集団ですので限りがありますが、それでも一対一対応をととても大切にしています。

- ◆緊急事態宣言が延長されました。ミニ納涼祭は13日に変更いたします。
- ◆昨日、引き渡し訓練を行ったため、園だよりはじめプリント類につきましては、2日に配布をさせていただきました。

